

令和4年度

子育て支援つうしん

社会福祉法人 図書館共済会 認定こども園

令和4年7月1日発行

今回の
テーマは?

今回は、4月に実施した子育て支援に関するアンケートの中から、「夜泣き」と「朝の準備」についての情報をご紹介したいと思います。

★☆★夜泣きの原因は?★☆★

生後4ヵ月から1歳半頃までに多く見られると言われていますが、睡眠サイクルが完成するまで4~5歳まで続くケースもあります。夜泣きが始まる時期、夜泣きが落ち着く時期もさまざまです、夜泣き続ける子も多いです。深い眠りと浅い眠りを短いサイクルで繰り返しているため、眠りから覚めやすく泣き出してしまう様です。また、日中に初めての場所へ行ったり、寝る直前まで激しく遊んで興奮したなど普段より強い刺激があった日は夜泣きが増えと言われています。いつもと違う刺激が、寝っている間に脳内の情報の処理が追いつかず、夜中に自覚してしまう原因になることもあります。

★☆★夜泣き対策で乗り切りましょう!★☆★

? 睡眠環境を見直してみましょう

寝具や服装は快適な物か、眠りの妨げになっているものはないか、寝室の温度・湿度もチェックしましょう。寝室はできれば遮光カーテンを使用して真っ暗に、夜間のお世話は手元を薄暗く照らすライトを使用しましょう。

? お子さんのお気に入りを探してみましょう

好きな抱っこスタイル、お気に入りの音楽、車に乗って揺られるなど、それぞれのお気に入りがあると安心して睡ることができます。他のお子さんと比べるべきはありません。無理をせずに夜泣きを乗り切りましょう♪

? 日中は元気いっぱい過ごしましょう

毎朝6?7時までは起こしましょう。日中は家の周りを散歩したり、公園に行くなどたくさん体を動かすようにします。適度に体が疲れて、眠りやすくなります。

おうちで過ごす日の場合も、お庭やベランダに出て日光を浴びて、室内でたくさん体を動かす遊びと一緒にすることで親子で一緒に気分転換にもつながります。

? 就寝前の約束を決めてみましょう

寝る前に絵本を読む、「おやすみなさい」を言って抱きしめてから寝る、子守唄を歌うなど毎日決まったルーティン(約束)を決めてみてはどうでしょう。毎日同じ方法で寝かしつけると、寝る時間がだとう事を赤ちゃんも覚えていきます。

★☆★夜泣きに関するエピソードをご紹介します★☆★

※アンケート結果より抜粋させていただいております。(原文ママ)

上の子が夜泣きがなかったので、下の子が夜中ぐずることがあってもそれが夜泣きたと気が付かなかつた。夜泣きたとわかったものの連日対応し胥れなかつたので、そのまま本人は横で泣かせ続けて娘は寝てました。結果、下の子はどんな環境でも寝られる子に育ちました。

※1子ども自身が自分で眠りに入るためのトレーニング

あまり夜泣きをした経験がありません。1度どうしても泣き止まなかつた時は、結局部屋が寒かったようで(その時はこれが分からなかつた)困り果てていた私を見かねて祖母が自分のお布団に入ってくれたら泣き止みました。

ウチの子達は、ギャン泣き夜泣き。なかなか泣き止まなくて1時間とかは普通でした。主人と交代で抱っこしてみたり、オルゴール鳴らしてみたり、手触りの良いタオルでくるみでみたり、とにかく思いあたることは全てしました。上の子はママのモコモコパジャマで顔を囲んであげて、オルゴール。下の子はママの前髪、前髪触ってなきゃダメ、パパの髪もダメ、人形もダメ、ママファイト!

ネントレ(※1)
に成功したので
夜泣きはほとんどなかつた。

うちはうまく乗り切れず、耐えるしかありませんでした…夜泣きがひどいときは、スマートスピーカーでリラックスできる音楽を流して、眠れる雰囲気を作ろうとしました。また、子どもに対してではありませんが、眠くて辛くなつたときにパートナーへの思いやりを持ち続けることが大切だと思います。

「朝の準備」に関するエピソードやお悩みをご紹介します

※アンケート結果より抜粋させていただいております。(原文ママ)

起こしても起こしても起きなかつたり着替えやオムツ交換の時に動き回って時間かかったり、家出る前にうんちしてたりで予定の時間に間に合わないことがあります。

前の夜に「明日の朝やること」と書いて娘と相談しながら書き出したら、次の朝自分から書いたメモを見て動いてくれたことがあった。

お気に入りの曲をかける。こちょこちょする。

早く起きること。

時間に余裕があると子どもに合わせてゆっくり準備ができるので、生活リズムが大切なんだとおもいます。

息子自身に準備をさせるよう心がけていますが、まだなかなかうまくできずといったところです。時間に追われて急がてしまい、逆にいい方法があれば教えてほしいです。

眠気もあるからかご飯をダラダラ食べるでそんな時はひたすら声掛けをしている。おー！ 食てる！ 次はこれいける？ すごい！！ と。できるだけ自分のできるところ準備させ（着替え等）できていなかったら仕上げはママやるね！ と言うと機嫌も悪くならないかも。

朝の準備で困っていませんか？

起こすことから1日が始まります
カーテンを開け、朝日を浴びることは脳にも良い刺激となりますので、開けましょう。近くに寄り添い、優しく声を掛けましょう。お子さんが、楽しみになる朝ごはんや、話題を出して起こしてみましょう☆



朝ごはんはシンプル簡単！

時間が限られる朝は、子どもが食べられる量で少なめにしてみましょう。食べ物の形状もおにぎりのような手づかみや、簡単に自分で食べられるようにしてみてはいかがでしょうか。



朝の支度は優先度が重要

帰ってからできることは優先度を下げます。逆に絶対に欠かせないのは、「園に行く準備・自分の身支度・子どもの身支度」ですね。大人の身支度を先に済ませていれば、心に余裕が生まれます。

準備にかかる時間を子どもと決める

お子さんがお話しがわかるようになってきたら、「園に行くには、朝起きたらどんな準備があるかな？ 何からやるといいかな？」と話しあったり、家を出る時間を相談して決めましょう。人に言われたことよりも、自分で決めたことの方が達成しやすいんです。「子どもに主体的になってもらう」というのがポイントです。



朝はバタバタ！ という思い込みを捨てる

いつものバタバタな朝を、頭のイメージからいったん消してから良いイメージを膨らませてから動き始めてみてください。時間は確認しつつも、お母さんが心と力を抜いて寝むと意外に上手くなりますよ。もしも、予想外のことが起きてても、まずは取り掛かり、慌ただしく出発しても、1日の終わりには頑張った自分にご褒美をしましょう♪



朝の準備のおすすめグッズや方法で「自分でできる！」を増やしていきましょう

自分で準備をしたり、順番を確認できるようなグッズが店頭で販売されています。グッズを活用して手作りのボードを作ることもできます。

この手作りボードは、できた行動の横にマグネットをつけます☆



園でも、朝の準備を順番にできるようイラストでわかりやすく掲示しています。様々な場面で頑張った時にご褒美シールを使うこともあります。喜んで取り組んでいますよ！



水筒の次は何を出すんだったかな？

